

国立大学法人大分大学医学部附属病院長候補者の推薦要領

1 推薦することができる者及び推薦方法

- (1) 医学部教授会の構成員
- (2) 医学部附属病院運営委員会の委員
- (3) 病院長選考会議の委員

- ・推薦を行う者は、様式第1号の病院長候補者推薦書により、あらかじめ病院長候補者の同意を得なければならない。
- ・(1)及び(2)の学内者による推薦は、20人以内の連署により行い、1人が複数人を推薦することはできない。
- ・病院長選考会議の委員は、単独で病院長候補者を推薦することができる。

2 病院長候補者の選考基準

別紙を参照ください。

○国立大学法人大分大学医学部附属病院長の資質・能力に関する基準

3 提出書類

- ・様式第1号 病院長候補者推薦書
「病院長候補者推薦書」について、10.5ポイントの明朝体を使用し、1,600字以内で、A4判1枚に収めること。手書きは不可。

4 病院長候補者の推薦期間 10月6日(木)～10月24日(月) 17時必着

5 提出方法 提出先に持参すること。

- ・連署による推薦の場合、提出日以降に推薦有資格者であることの確認を行うため、余裕を持って提出すること。無資格者が入っていた場合は、推薦代表者に連絡する。

6 提出先

医学・病院事務部総務課長

TEL：097-586-5102

7 本件に関する問合せ先

医学・病院事務部総務課副課長(総務担当)

TEL：097-586-5177

FAX：097-586-5119

Email：soumufk@oita-u.ac.jp

○国立大学法人大分大学医学部附属病院長の資質・能力に関する基準

病院長候補者となることができる者は、医師免許を有し、かつ、国立大学法人大分大学の教授（教授予定者を含む。）であって、次に掲げる資質及び能力を持つものとする。

- (1) 人格が高潔で、学識に優れ、人望があり、かつ、医学部附属病院（以下「本院」という。）の現状を理解した上で将来の在り方に明確な理念を持ち、リーダーシップを発揮できる者
- (2) 医療人教育機関である本院の責任を自覚し、優れた教育者として卒前教育、卒後研修及びその後の医療人養成に貢献できる者
- (3) 高度な医療を実践する本院の責任を自覚し、最先端の医療の提供を推進できる者
- (4) 患者の安全を第一として、医療安全の確保を担保する知識、経験及び能力を有する者
- (5) 科学としての医学の重要性を理解し、医学研究機関である本院の医学研究の発展に貢献できる者
- (6) 大分県の中核病院である本院のリーダーとして地域医療の現状を深く理解し、その維持及び発展に貢献できる者
- (7) 病院の運営に関する経験を有し、病院経営を担う能力を有する者